

ISSN 2187-6177

日本語音声コミュニケーション 1

Japanese Speech Communication 1

2013. 3

日本語音声コミュニケーション教育研究会

The Research Circle for Teaching Japanese Speech Communication

製作 ひつじ書房

目次

発刊のことば

和文

論文

日本語のアクセントとイントネーションの競合的關係
The Competitive Relationship between Japanese Accent and Intonation

定延利之1

研究ノート

日本語の発音—教室での気づきから論文投稿まで—

林 良子38

英文

論文

The Competitive Relationship between Japanese Accent and
Intonation

日本語のアクセントとイントネーションの競合的關係

SADANOBU Toshiyuki.....1

著者紹介

雑誌の案内（投稿の方法、連絡先）

発刊のことば

日本語の音声コミュニケーションとその教育を専門に考える研究会「日本語音声コミュニケーション教育研究会」を、私たちが日本語教育学会のテーマ研究会として作ったのが2006年の4月です。ようやく7年目にして、会誌の発刊という悲願を達成できました。ご協力を賜りました方々に心よりお礼申し上げたいと思います。ありがとうございます。

『日本語音声コミュニケーション』（英語名 *Japanese Speech Communication*）は、マルチメディアを駆使したオンラインジャーナルです。紙媒体の雑誌や本と違って、動画そのもの、音声そのものを掲載することができ、掲載されたものは世界じゅうで視聴されます。文字では書き表せないような、ちょっとした「日本的」な仕草でも、日本語を発音している被験者の口の中を撮ったMRI動画でも、日本語の教室の様子でも、世界に向けて発表することができます。

日本語の音声コミュニケーションとその教育に関する私たちの理解をさらに深め、研究を活性化していくために、本誌をご活用下さいましたら幸いです。

2013年 3月吉日

「日本語音声コミュニケーション教育研究会」代表幹事
定延利之

著者紹介

定延利之（さだのぶとしゆき）

神戸大学大学院国際文化学研究所教授。

主たる研究テーマはコミュニケーションにおける文法。

主な著書：『よくわかる言語学』（アルク、1999年）、『認知言語論』（大修館書店、2000）、『ささやく恋人、りきむレポーター—口の中の文化—』（岩波書店、2005）、『日本語不思議図鑑』（大修館書店、2006）、『煩惱の文法』（筑摩書房、2008）、『日本語社会のぞきキャラくり』（三省堂、2011）。

Toshiyuki SADANOBU, Ph D.

Professor, Faculty of Intercultural Studies, Kobe University, Japan.

Main topic of research: grammar in communication.

Main publications: *Yoku Wakaru Gengogaku (Easy Linguistics)*, Alc, 1999); *Ninchi Gengoron (A Cognitive Study in Linguistics)*, Taishukan, 2000); *Sasayaku Koibito, Rikimu Reporter (Culture of Oral Speech)*, Iwanami, 2005); *Nihongo Fushigi Zukan (An Illustrated Book of Grammar of Japanese Language)*, Taishukan, 2006); *Bomou-no Bunpou (How Our Everyday Interactions Form Grammar)*, Chikuma 2008); *Nihongoshakai Nozoki Kyarakuri (An Introduction to Japanese “Characters”)*, Sanseido, 2011).

林良子（はやしりょうこ）

神戸大学大学院国際文化学術研究科准教授。主たる研究テーマは音声学・音声科学、第二言語習得等。メールアドレス：rhayashi@kobe-u.ac.jp 主要業績：(論文)Hayashi R. et al. “Elicitation of N400m in sentence comprehension due to lexical prosody incongruity”, *NeuroReport* (Vol.12, No.8, 1753–1756, 2001)。林良子他、「MRI 動画による英語音声の調音動態の観察—日本人英語学習者との比較—」『第 25 回日本音声学全国大会予稿集』(91–96、共著、2011)『クリン・クランドイツ語初級文法と発音』(朝日出版社、2011)、『イタリア語スピーキング』(分担執筆、三修社、2011)、「脳機能イメージング」河野守夫監修『ことばの認知のしくみ』(104–118、三省堂、2007)。

Ryoko HAYASHI, Ph D.

Associate Professor, Faculty of Intercultural Studies, Kobe University, Japan.

Main topics of research: phonetics, phonetic science, second language acquisition. E-mail address: rhayashi@kobe-u.ac.jp.

Main publications: Hayashi R. et al. “Elicitation of N400m in sentence comprehension due to lexical prosody incongruity”, *NeuroReport*, Vol.12, No.8, 1753–1756, 2001.; “An investigation of articulatory movements of English pronunciation using MRI-movie - comparison between native speaker and Japanese EFL”, In: Proceedings of the 25. General meeting of Phonetics Society of Japan, 91–96, 2011 ; *Kling Klang – Deutsche Grammar und Aussprache für Anfänger*, Asahi Press, 2011; *Speaking Italian*, Sanshusha, 2011; “Neuroimaging of language” In: Kotoba no Ninchi no Shikumi (*Language Recognition*), Morio Kono (ed.), Sansendo, 2007.

雑誌の案内（投稿の方法、連絡先）

『日本語音声コミュニケーション』(*Japanese Speech Communication*) は、日本語音声コミュニケーション教育研究会の会員であれば、どなたでも投稿できます。（但し、会員以外からの投稿も査読委員会の判断で認めることがあります。）

研究会の「入会案内」については、下記の web ページをご参照下さい。

<http://www.speech-data.jp/nihonsei/apply.html>

「投稿要領」と「査読委員会会則」については、下記の web ページをご参照下さい。

<http://www.speech-data.jp/nihonsei/seika.html>

「査読委員会名簿」については、下記の web ページをご参照下さい。

<http://www.speech-data.jp/nihonsei/summary.html>

その他のお問い合わせは、下記までお願い致します。

定延利之（さだのぶとしゆき）（代表幹事）

sadanobu[at]kobe-u.ac.jp（[at] の部分を @ に変えてご送信下さい。）

〒 657-8501 神戸市灘区鶴甲 1-2-1 神戸大学大学院国際文化学研究所

編集後記

電子雑誌『日本語音声コミュニケーション (Japanese Speech Communication)』の第1号が発刊された。感慨深いものがある。

この雑誌は、「日本語音声コミュニケーション教育研究会」の雑誌で、その目的は「日本語の音声コミュニケーションに関する研究を促進することによって、言語やコミュニケーションに対する我々の理解の深化に寄与すること」です。創刊前に雑誌の目的を相談され、「世界平和のために」といれてはどうかと言ったのですが、ことばは採用されませんでした。でも、精神は生きています。

これから何号まで続くのか、どんな雑誌になって行くのか、そして、どれほど世界の平和に貢献できるのか、とても楽しみです。

馬場良二（査読委員長）

日本語音声コミュニケーション 1

Japanese Speech Communication 1

インタラクティブ PDF 版

発行 2013年3月28日 初版1刷
著者 日本語音声コミュニケーション教育研究会
発行・製作 株式会社 ひつじ書房
〒112-0011 東京都文京区千石 2-1-2 大和ビル 2F
Tel.03-5319-4916 Fax.03-5319-4917
郵便振替 00120-8-142852
toiawase@hituzi.co.jp <http://www.hituzi.co.jp/>

ISBN978-4-89476-650-1

ISSN 2187-6177